



The Millennials Shibuya | ベッド

宿泊客の7割が外国籍 1カ月でのべ1500人が利用

宿泊施設「ザ・ミレニアルズ渋谷」が3月15日、東京・渋谷に開業した。同施設は二号店で、一号店は昨年7月、京都にオープン。客室数は120、客室単価は6000円前後。特徴的な多機能ベッドユニット「スマー

トポッド」は、受付時に渡される「iPod」で操作する。フロアは男女兼用、女性専用、「アートポッド」の3タイプ。アートポッドはスマートポッド内部にイラストレーターやアーティストが装飾を施したもの。

オープンから1カ月で約3400泊、のべ1500人が宿泊した。国籍の比率は大まかに日本人3割、外国籍7割という。外国籍では欧米系とアジア系で1対1だ。3階はコワーキングスペース。共用キッチンもある。



The Millennials Shibuya | レビュー

快適性とオシャレさが両立 接客にも評価が集まる

「ザ・ミレニアルズ渋谷」には、次のような反響が寄せられている。「カプセルホテルとは違い、ベッドの寝心地が良く、ハイテクな機能が詰まってとても快適に過ごせた」「シャワー室やトイレなど設備がキレイで、アメニティの内容も充実している」「スタッフがていねいでフレンドリー、おすすめスポットなどをたくさん教えてくれた」「ワークスペースやキッチン、ラウンジなど、共用スペースがオシャレで、ゆっくりくつろぐことができた」「友人とワイワイできるのも、すてきでした」「立地が良く、ビジネスでもプライベートでも両方楽しめる。友人にも勧めたい」

The Millennials Shibuya | イベント

利用者同士の交流を促す コワーキングスペースも

3階のコワーキングスペースでは、イベントも開催している。主催イベントでは、自身の働き方について考えるイベント「働く人 TOKYO」や、ふだんケータリングでしか楽しめないユニットを招き、食事とトークを楽しむイベント「nowhere restaurant (ナウヒアレストラン)」がある。宿泊客や、コワーキングスペースの利用者以外にも使えるよう、ミレニアル世代向けのイベントや、バンケット(宴会)などのスペースレンタルも行う。

「場というハードに、ソフトの要素を付加することで、住む、泊まるにとどまらない価値が生まれ、それが個性になっていきます。利用者の交流を促す、ソーシャル性があることで話題が広がり、集客でも非常に効果があると考えています」(グローバルエージェンツ)

